

2025-26 RIテーマ

**UNITE
FOR
GOOD**

 よいことの
ために
手を取りあおう

WEEKLY

Rotary



Club of Toyohashi

RI D2760

2025-26 クラブテーマ

 「話があり、和をもち、
そこに大きな輪をまわそう」
～心を耕し、心に種をまき、奉仕の花を
皆の心に咲かせよう～


1950年8月10日創立

第2回クラブフォーラム・「社会奉仕」 社会奉仕委員会担当 フォーラムテーマ「地域社会における社会奉仕の輪」

フォーラム主催者挨拶

伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長



本日のフォーラムテーマは社会奉仕です。社会奉仕という言葉は、皆さまも日常的に使われていると思いますが「ロータリークラブの社会奉仕とは何か」という問いに答えるのは非常に難しいというのが私の考えです。本日のフォーラムのように、グループで話し合いを行い、その結果をまとめて発表するという学び方は、教育の世界では「アクティブ・ラーニング」と呼ばれており、2010年頃から徐々に世の中へ広まりました。最近では日本語になり「主体的、対話的で深い学び」という言葉もあるそうです。椅子に座って先生の話を一方向的に聞く形ではなく、自分の考えや意見をぶつけ合い、それを最後にまとめて発表し、自分の考えを人に説明することで、より一層深い理解に至る、非常に効果がある学び方だと言われています。

本日の話し合いを通して、会員の皆さま方が社会奉仕に対する理解を深める機会になればと思っています。

フォーラムリーダー主旨説明 野寄 誠三 社会奉仕委員長



RIの社会奉仕に関する声明では、社会奉仕はロータリアン一人ひとりが超我的奉仕を実証する機会であり、地域に住む人々の生活を高め、公共のために奉仕することは全てのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務だと定義されています。

会員の皆さまは個人として、これまで数々の社会奉仕活動をされてきたと推察いたします。もしかしらそれは既に皆さまの生活の一部になっているかもしれません。また、ご自身の経営する会社においても、何かしらの社会奉仕活動を実践されているかもしれません。

豊橋RCとしては、昨年は創立75周年記念事業としてペットボトルキャップを市内の小学校から集めてポリオワクチンに変え、子どもたちの心に変化をもたらした事業も行われました。

本日は、地域社会や公共のために我々ロータリアンが何ができるのか、さらには豊橋RCとしての社会奉仕活動とはどうあるべきか等について大いに語っていただき、皆さまの社会奉仕に対する意識の向上、そしてその先にある行動に繋げていくことを祈念いたします。

事業を継続する社会奉仕を！

大塩 啓太郎 会員



「今まで経験した社会奉仕活動はどのようなものか」については、JCや商工会議所青年部、文化財団、法人会でまちづくりやスロータウン映画祭等の活動を行ったという意見がありました。

「社会奉仕活動は外向けにアピールすべきか否か」については、ロータリーは昔、陰徳が美学とされていたため、総合的には△という結果でした。ただ、社会奉仕活動を行うのであれば、分かりやすく見えやすい方が良いのではないかという意見もありました。

「豊橋RCとしての社会奉仕活動はどうあるべきか」については、朝倉川育水フォーラムのような多くの会員に参加してもらえるように事業を継続するのが良いのではないかという意見がありました。また、お金だけでなく、「もの」や「こと」さらにはセンスや人脈といった、ロータリアンならではのネットワークを一層活用していこうという意見もありました。

「今後どのような社会奉仕活動をしていきたいか」については、文化の継承や仕事絡みでない社会との接点を持ちたいという意見がありました。

団結を社会奉仕に繋げていく活動を！ 笠原 元樹 会員



「今まで経験した社会奉仕活動はどのようなものか」については、各種団体への所属を通じての社会奉仕活動の意見が多く出たと思います。具体的には自警団や消防団、町内会、PTAも

それに該当するかと思います。また、会社組織として月2回の清掃活動や利益の一部を子ども食堂に寄付している等の意見もありました。

「社会奉仕活動は外向けにアピールすべきか否か」については、対外的にはしっかりとPRした方が良いという意見が多く、しっかりとPRを行うことで会員増強に繋がるのではないかという話が出ていました。

「豊橋RCとしての社会奉仕活動はどうあるべきか」については、まずは地域社会のニーズに合った活動をすべきという意見でまとまりました。

「今後どのような社会奉仕活動をしていきたいか」については、地域のニーズに合った奉仕活動や、自分らしさ、自社の事業に関連したお手伝いができれば良いのではないかという意見がありました。豊橋RCとしては、

様々な業種が集まっているクラブなので、その団結を社会奉仕に繋げていくような活動を行っていききたいという話でまとまりました。

SNS活用で社会奉仕の実践

金子 幸義 会員



「今まで経験した社会奉仕活動はどのようなものか」については、会社や工場の周りの清掃活動という意見が一番多く挙がりました。その他には、交通遺児基金への寄付やペットボトルキャップの回収を行っている方もいらっしゃいました。

「社会奉仕活動は外向けにアピールすべきか否か」については、個人的にSNSをやられている方が増え、日々の出来事を日常的に発信しているので、PRという意図はなかったとしても、それは一つの発信になるというご意見をいただきました。また、豊橋RCでは、会員増強に繋げるために、広く認知していただくという意味ではメリットがあるのではないかと思います。

「豊橋RCとしての社会奉仕活動はどうあるべきか」については、昔から社会奉仕というイデオロギーは変わっていないので、継続して発信を行い、他団体と協力しながらスケールメリットを生かすことで、大きな奉仕活動を生み出せる可能性があるという意見をいただきました。

「今後どのような社会奉仕活動をしていきたいか」については、私個人の意見ですが、会社周辺の道が暗いため、会社の照明を付けたままにして、町を明るくしていると考えています。

次世代の育成をテーマに社会奉仕を！ 中田 昌宏 会員



「今まで経験した社会奉仕活動はどのようなものか」については、清掃活動という意見が非常に多かったです。その他には、会社として豊橋市のマラソン大会や長良川の鵜飼いのボランティアに参加されている方もいらっしゃいました。

「社会奉仕活動は外向けにアピールすべきか否か」については、周年事業・式典の際はしっかりとアピールをしても良いのではないかと意見が出ました。また、「アピールすること」に関して言うと、例えば会員増強のためにアピールすることは、RIとの考えの違いもあり、本当に日本の文化に合っているのかどうかという話も出ました。

「豊橋RCとしての社会奉仕活動はどうあるべきか」については、次世代の育成についての活動をするべきではないかという意見が出ました。

「今後どのような社会奉仕活動をしていきたいか」については、豊橋RCで行っている活動や他の団体の活動に個人で参加するという意見が出ました。私個人としては、仕事が教育関係のため、次世代の育成というテーマで活動を行っていききたいと思っています。

社会課題の解決に結びつく活動を！ 植村 忠慶 会員



「今まで経験した社会奉仕活動はどのようなものか」については、街頭募金への参加や町内のお役目を積極的に受けたり、PTAの連絡協議会会長、ボランティアで社会福祉協議会のお仕事をされた方がいらっしゃいました。その他には、町内のお祭りや自治会、お寺の行事への参加、清掃活動、募金を行っているという方もいらっしゃいました。

「社会奉仕活動は外向けにアピールすべきか否か」については、このテーブルでは皆さんが「陰徳の美」という共通した考えを持っていたため、個人ではアピールしない方が良いのではないかと意見が大半でした。一方で、団体としては良いことを行い、そのムーブメントを周りに波及させたりイメージアップに繋がるため、逆にアピールした方が良いのではないかと意見でした。

「豊橋RCとしての社会奉仕活動はどうあるべきか」については、求められるものを求められる通りにやるというようなことが、皆さんの共通の意見でした。

「今後どのような社会奉仕活動をしていきたいか」については、個人でも会社でも納税や寄付をすることで社会奉仕になるというご意見がありました。私個人としては、社会奉仕や職業奉仕、ボランティア等で社会課題の解決に結びつく活動をしていきたいと思っています。

アドバイザー纏め

福井 敬 会員



本日皆さまのお話を聞いて非常に面白いと思ったのは、様々な社会奉仕のご意見がありましたが、「現在」のことについて多く意見が出ていたと感じました。朝倉川育水フォーラムや表浜海岸清掃等様々な活動がありますが、やはり我々がやるべきなのは、創立75周年記念事業で行った「夢ギフト講演」のような子どもたちに向けた活動であり、個人的には「現在」ではなく「未来」について考えなければならないと思います。これから子ども達を育てていくのは、我々の役目だと思います。

もう一つ感じたことは、長く続けることは大切と思いますが、ただ同じことを20年も30年もやり続けるのではなく、ある程度進めて流れを作り、その後に民間の他団体に渡すことも我々の役目だと思います。

お礼の挨拶

野寄 誠三 社会奉仕委員長

本日は「地域社会における社会奉仕の輪」というタイトルで、会員の皆さまがご自分の体験を語り、地域社会における役割や繋がりなどを議論していただいたと思います。また、豊橋RCとしても今までの社会奉仕のあり方や今後の方向性などもお話しいただけたと思います。本フォーラムが明日からの会員の皆さまの社会奉仕の心に灯をともし、積極的な社会奉仕の実践に繋がることを祈念しましてお礼の挨拶とさせていただきます。

フォーラム主催者締め挨拶

伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長

本日は皆さまの長年の経験から、様々な角度からお話しただけのおかげで、それぞれのテーブルで新たな学びがあったのではないかと思います。本日のフォーラムで皆さまの社会奉仕に対する理解が更に深まり、今年度も活発な社会奉仕活動が続くと確信いたしました。

会長挨拶

井川 和英 会長



9月20日、21日に恒例の松本南RCとの親睦ゴルフコンペを開催しました。今年度は友好の盾を交換してから40周年にあたることから「友好40周年記念ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ」として開催し、当クラブ参加者23名からポリオを寄付金6万円が寄せられました。事務局の方から送金をいたします、との報告を紅林直前会長よりいただきました。

先々週の例会でお話ししようとした話ですが、一緒に植えることでお互いの成長を助け合ったり、病害虫を遠ざけたりする効果を持つ植物の組み合わせを「コンパニオンプランツ」と言います。例えば、トマトとバジルの組み合わせは、バジルの香りで虫が寄ってこなくなる効果があります。

それぞれに効果がありますが、中には特効薬とされているものがあります。それはマリーゴールドです。マリーゴールドは全てのものに効果があります。マリーゴールドの花は美しいだけでなく、様々な作物と共生することで良いものを生み出してくれます。植物世界でも「植物奉仕」というものがあるということを知っていたきたいと思います。

松本南RC親睦ゴルフコンペ集合写真



幹事報告

山本 貴浩 幹事

- 地区公共イメージ向上委員会より「尾身 茂氏講演会」のご案内が届いています。
日時 10月23日(木) 16:00～
場所 電気文化会館
- ロータリーマガジンが届いています。

ニコニコBOX

大塩 啓太郎 ニコニコ委員

- 本日のフォーラム楽しみにしております。野寄誠三社会奉仕委員長、宜しくお願い致します
井川 和英 会長 山本 貴浩 幹事
- 三浦委員長の代役で主催させていただきます
伊藤 晴康 R情報・ラーニング副委員長
- 本日のフォーラムを担当させていただきます
野寄 誠三 社会奉仕委員長
- フォーラムアドバイザーを務めさせていただきます
福井 敬 会員
- 野寄委員長、フォーラム楽しみにしております
大塩 啓太郎 久保田 充三 村雲 晃 各会員
- 本日は自分で自分へのエールを入れたいと思います。
せいぞー！がんばれ！
野寄 誠三 社会奉仕委員長
- 福井敬さんアドバイザーの大役で苦勞様です
松坂 良太 会員
- 9月20日・21日の松本南RCとの交流会にご参加くださった皆さま、ありがとうございました
井川 和英 会長 山本 貴浩 幹事
- 9月21日松本南RCとの交流コンペを塩嶺カントリークラブで総勢31名、観光組5名で開催されました。
交流ゴルフ会
優勝 井上泰宏 準優勝・ベスグロ賞 山本勘司 各会員
第1回豊橋RCゴルフ会
グランドシニアの部 優勝 樫田 隆実 準優勝 宮田 正人 各会員
シニアの部 優勝 岩瀬 清 準優勝 紅林 友昭 各会員
一般の部 優勝 山本 勘司 準優勝 西根 祐一 各会員
- 今朝、初孫が生まれました
松坂 良太 会員
- 本年度はじめてニコニコの発表をさせていただきました
大塩 啓太郎 ニコニコ委員

会葬御礼

先日は妻の通夜、告別式に皆様にお越しいたき、心より御礼申し上げます
鈴木 邦夫 会員

(順不同)

お誕生日おめでとうございます

山本 光伸 会員(9月29日生) 平林 智子 さん(9月29日生)

歌

ソングリーダー 佐藤 裕彦 会員

「大きな栗の木」

本日のビジター

豊橋北RC 2名 豊橋ゴールデンRC 3名
豊川宝飯RC 1名
計 6名

出席報告

小林 大悟 出席委員長

当日出席者 52名 計算会員数 85名中33名欠席
総会員数 110名 出席率 61.18%

例会予定

次のプログラム

10月2日(木) 卓話「米山奨学会の活動について」

- 10月9日(木) 卓話「豊橋ロータリークラブの伝統について」
- 10月16日(木) 休会
- 10月23日(木) 結婚記念祝例会

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

